

「最近の機械貿易動向(1月)～機械輸出伸び率12ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2018.3.15

平成30年1月の機械輸出額は3兆8,521億円、対前年同月比10.6%増と、12ヶ月連続でプラスとなった。これは、①北米向けを除く5地域向けがプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な19輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が4.9%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は5.7%増となった。平成30年2月の為替・営業日要因は11.9%の減少寄与要因となっているが、3月7日発表の貿易統計速報によれば2月上中旬の全商品輸出は4.8%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆863億円(前年同月比 [以下同じ] 12.3%増、14ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:7兆304億円(7.9%増、13ヶ月連続プラス)
- ③ 貿易収支:9,441億円、8ヶ月ぶり赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:3兆8,521億円(10.6%増、12ヶ月連続プラス)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:5.7%増(16ヶ月連続プラス)
- ② 機械輸入額:2兆2,282億円(5.5%増、11ヶ月連続プラス)

(2) 為替・営業日動向

2018年1月に4.9%の増加要因となる一方、2018年2月に11.9%の減少要因、3月は7.1%の減少要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 北米向けを除く5地域向けがプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:1.1%減、12ヶ月ぶりマイナス(図表4、5)
- ③ 中国向け:27.3%増、15ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:10.7%増、14ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:17.6%増、12ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:9.1%増、2ヶ月ぶりプラス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:5.4%増、7ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中19業種がプラス。そのうち13業種が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 鉄道車両(EU向け中心)、工作機械(中国、北米、EU、ASEAN・南アジア向け中心、4ヶ月連続上位)、産業用ロボット(中国、北米、EU向け中心、12ヶ月連続上位)等が大きくプラス
- ② 半導体製造装置(韓国・台湾、中国向け中心、4ヶ月連続上位)等も好調に輸出が継続
- ③ 磁気カード・ディスク等、航空機部品等が大きくマイナス

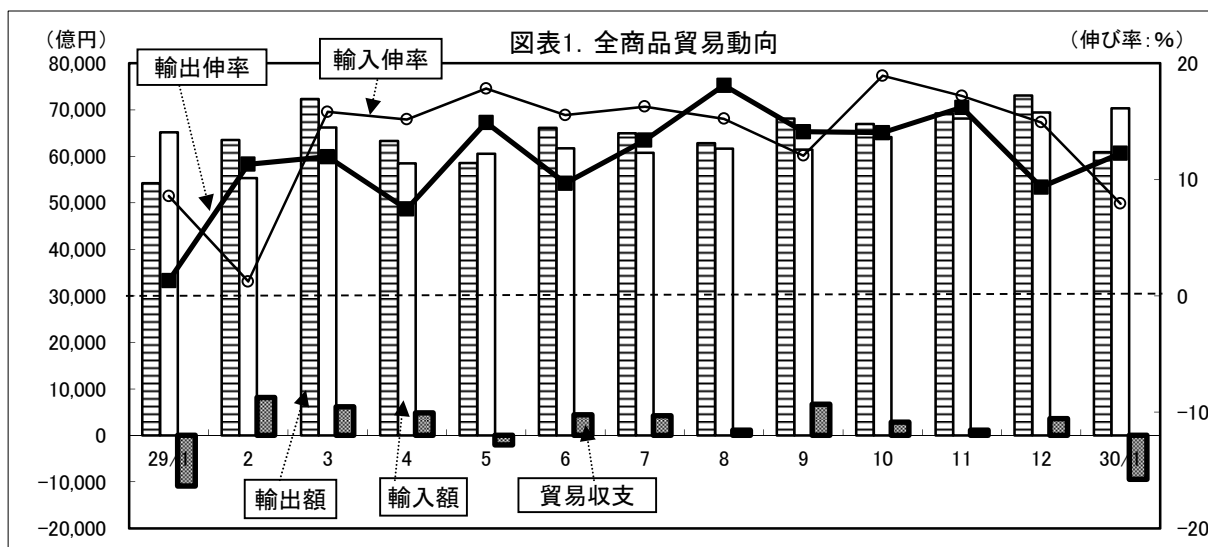
(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、6機種がプラス
- ② そのうち携帯電話、乗用車、半導体製造装置の3機種が二桁以上のプラス

II 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は14ヶ月連続プラス、輸入も13ヶ月連続でプラス～

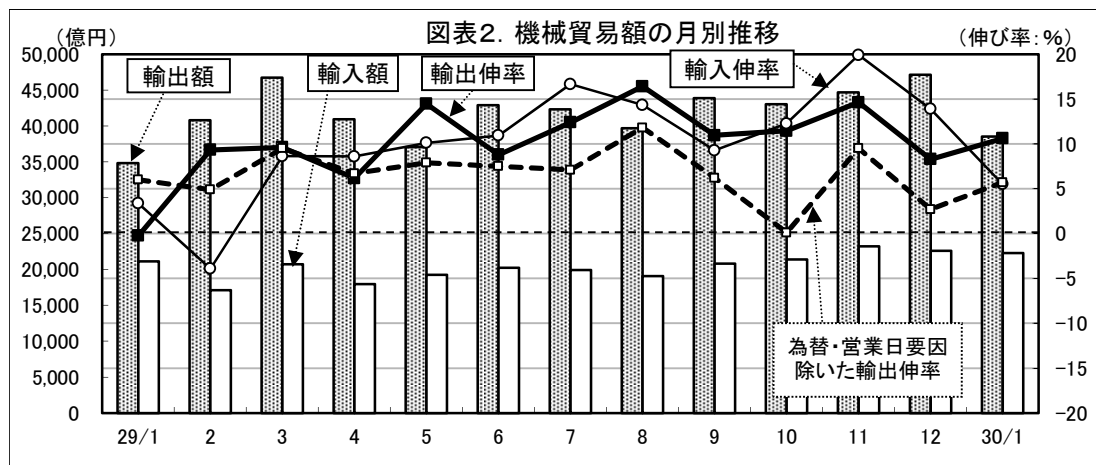
- 1) 平成30年1月の全商品輸出額は**6兆863億円**、前年同月比(以下同じ)**12.3%増**と14ヶ月連続でプラスとなった(12月9.3%増)。これは、全輸出額の約20%を占める一般機械(18.3%増)をはじめ、約17%を占める電気機器(11.6%増)、プラスチック等化学製品(17.2%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(14.3%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**7兆304億円**、**7.9%増**と13ヶ月連続でプラスとなった(12月14.9%増)。これは、全輸入額の約23%を占める原粗油等鉱物性燃料(9.7%増)が13ヶ月連続でプラスとなったことに加え、電気機器(4.1%増)、医薬品等化学製品(20.1%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、9,441億円と8ヶ月ぶりの赤字となった。(12月は3,587億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は12ヶ月連続、輸入も11ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約63%を占める1月の機械輸出額は**3兆8,521億円**、**10.6%増**と12ヶ月連続でプラスとなり(12月8.3%増)、その水準は、リーマンショック前(2007年12月)と比べると**88.1%**となっており、前月に比べて4.1ポイント悪化した(12月92.2%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は5.7%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約32%を占める機械輸入額は、**2兆2,282億円**、**5.5%増**と11ヶ月連続でプラスとなり(12月13.9%増)、リーマンショック前(2008年1月)の水準に比べ、29.8%増となっている。

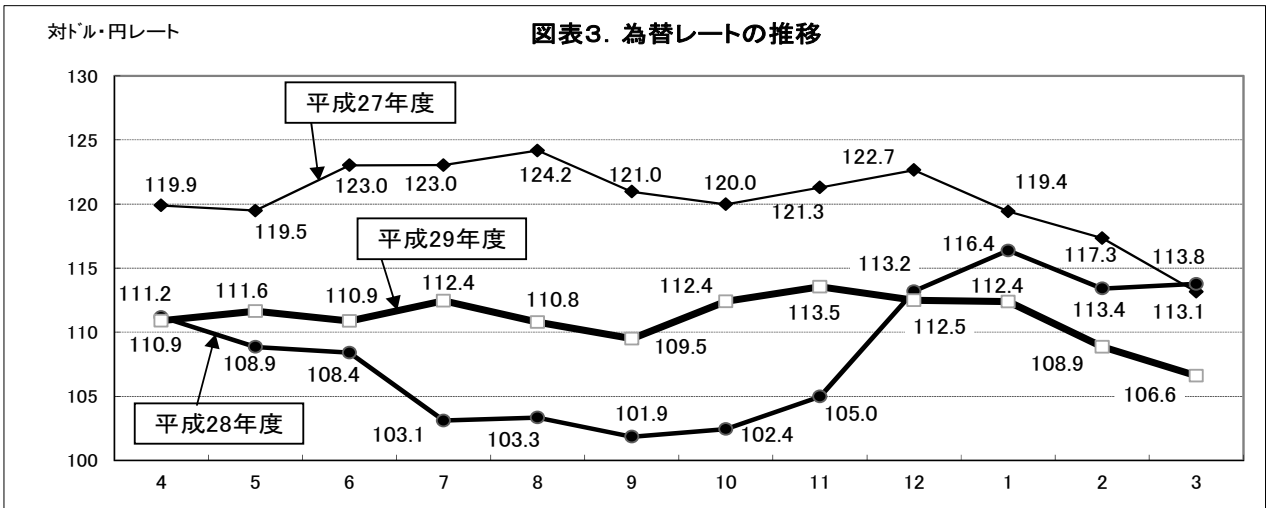


(2) 為替・営業日動向～1月は4.9%の増加要因、2月は12.0%の減少要因～

1) 2018年1月は1ドル=112.4円となり、前年に比べ3.4%の円高なった。また、対ユーロは134.7円と前年に対して10.0%の円安となり、合わせて約1.1%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、中華圏における春節の影響を考慮すると約6.1%の増加要因となり、合計で約4.9%の増加要因となる。1月の輸出額は10.6%増であったことから、実質的伸び率は5.7%増と16ヶ月連続プラスとなった(12月2.7%増)。

2) 2018年2月は1ドル=108.9円で前年比4.0%の円高、対ユーロは134.7円で前年比10.9%の円安となり、合わせて約1.4%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少なく、中華圏における春節の影響も考慮すると約10.6%の減少要因となり、合計で約11.9%の減少要因となる。

3) 2018年3月は、対ドルが3月14日17:00時点の106.6円とすれば、前年に比べて6.3%の円高、また、対ユーロは132.0円で9.5%の円安となり、合わせて約2.6%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.5%の減少要因となり、合計で約7.1%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～北米向けを除く5地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の22.6%を占める最大輸出先の北米向けでは、建設機械(15.9%増)等が増加したものの、全体の約52%を占める自動車(0.4%減)、産業機械(3.6%減)、航空機部品(14.2%減)等がマイナスとなって1.1%減となった。②22.0%を占める中国向けでは、産業機械(55.9%増)、自動車(31.4%増)、電子デバイス(1.6%増)等が増加して27.3%増となり、③14.7%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(37.4%増)、インドネシア(20.4%増)、インド(23.1%増)等が大きく増加し、業種では、自動車(10.0%増)、産業機械(25.2%増)、電子デバイス(12.4%増)等がプラスとなり、10.7%増となった。④12.9%を占めるEU向けは、約35%を占める自動車(16.6%増)をはじめ、産業機械(10.8%増)、理化学用機器等軽機械(5.9%増)、船舶(56.7%増)等がプラスとなって17.6%増となり、⑤10.5%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(3.9%増)、電子デバイス(10.1%増)、自動車(32.6%増)等が増加して9.1%増となった。⑥17.3%のその他地域向けでは、大洋州(8.7%減)向けがマイナスとなったものの、ロシア東欧等(28.5%増)向けが大きくプラスとなり、機種では、自動車(4.8%増)、船舶(5.6%増)等が増加して5.4%増となった。

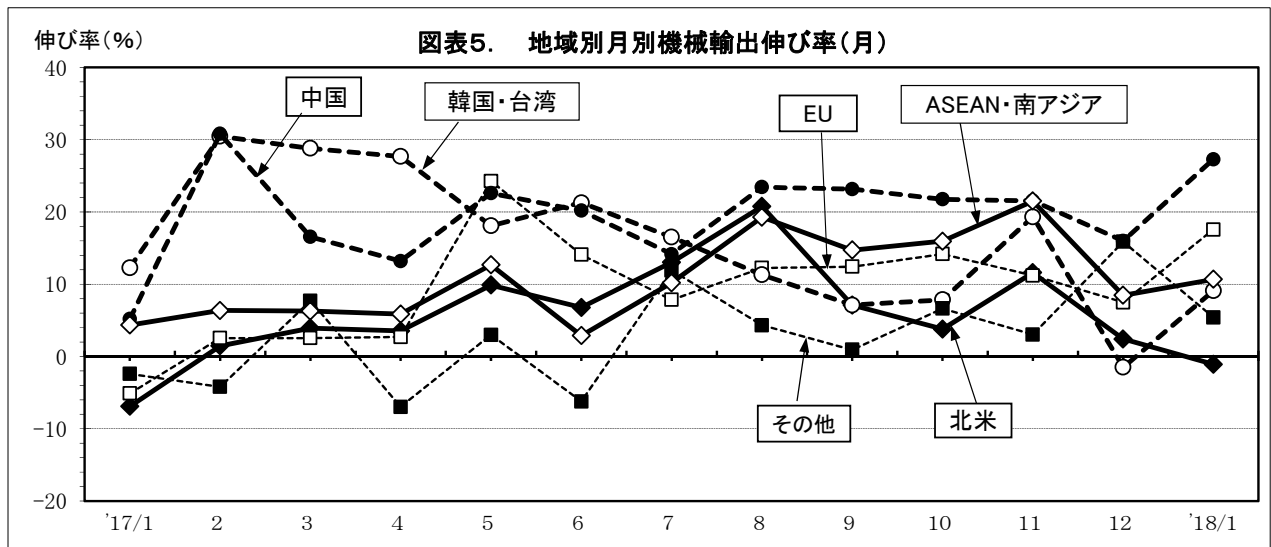
2) また、リーマンショック前の2008年1月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超え、韓国・台湾向けが90%台、北米向けが80%台、その他地域向けが70%台、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2017/11			2017/12			2018/1			対08年 1月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	44,674	14.6	100.0	47,153	8.3	100.0	38,521	10.6	100.0	0.88
北米	11,583	11.6	25.9	11,833	2.4	25.1	8,704	▲ 1.1	22.6	0.80
中国	10,269	21.6	23.0	11,430	16.0	24.2	8,464	27.3	22.0	1.22
ASEAN・南アジア	6,842	21.5	15.3	6,807	8.5	14.4	5,666	10.7	14.7	1.10
EU	4,980	11.2	11.1	5,627	7.5	11.9	4,988	17.6	12.9	0.66
韓国・台湾	4,751	19.3	10.6	4,867	▲ 1.5	10.3	4,044	9.1	10.5	0.93
その他	6,250	3.1	14.0	6,589	15.9	14.0	6,654	5.4	17.3	0.74

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

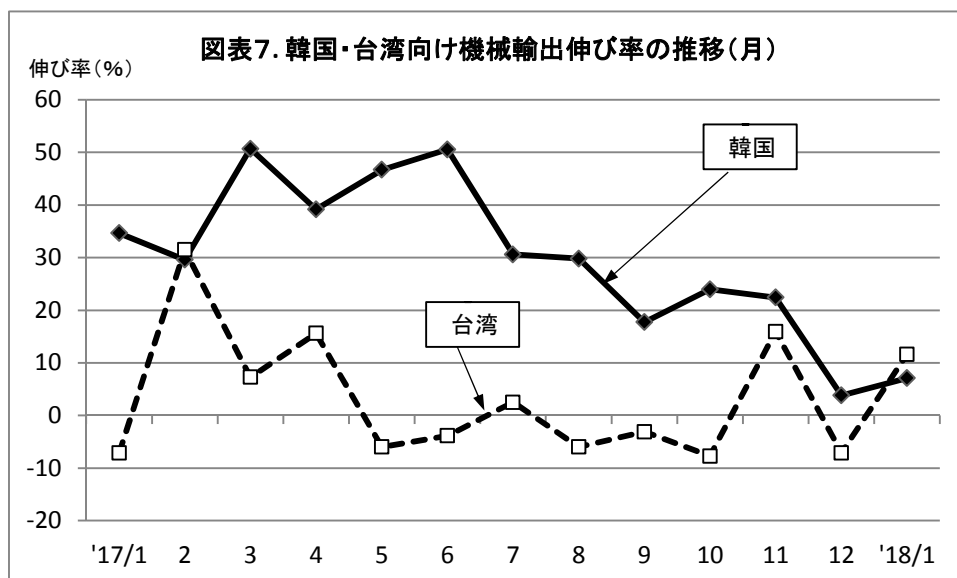


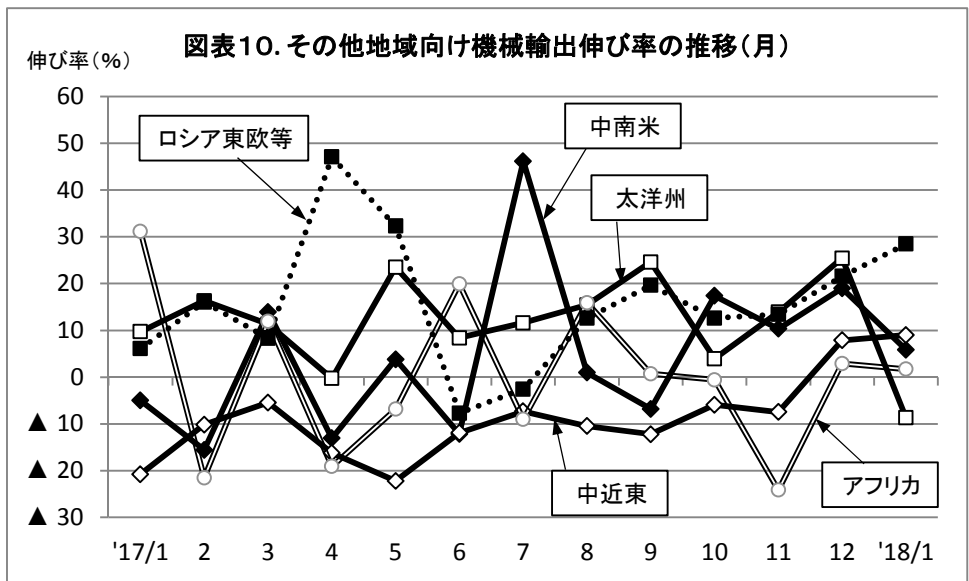
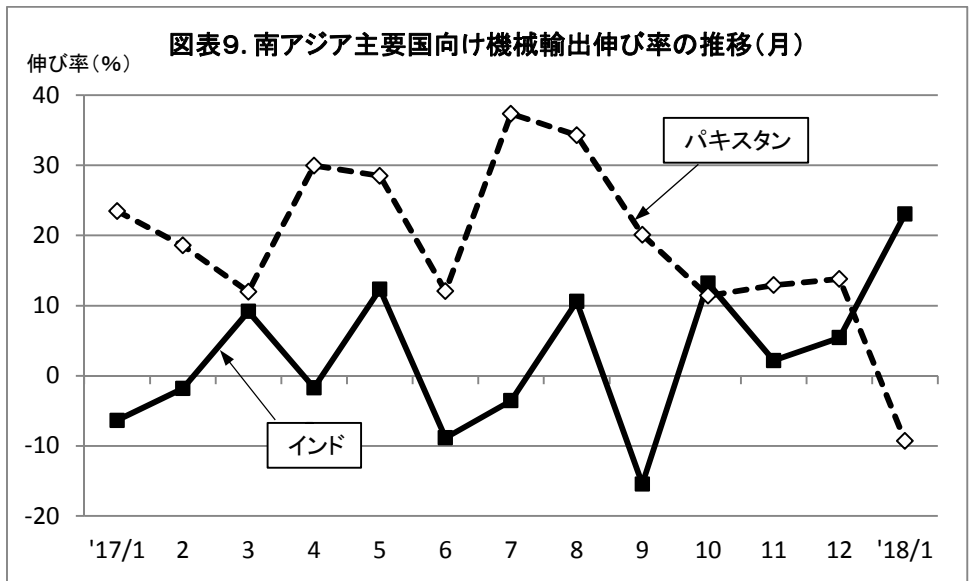
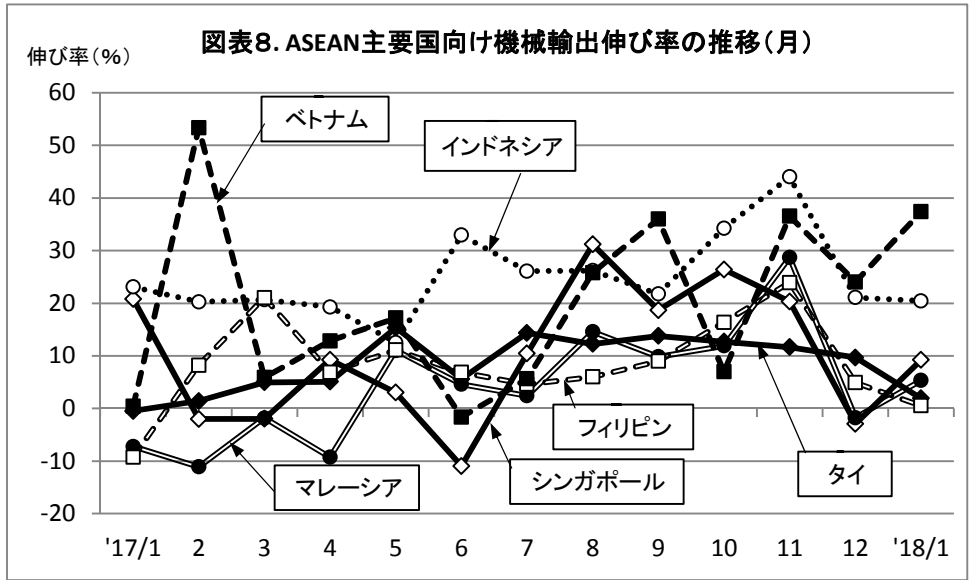
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2017/10		2017/11		2017/12		2018/1	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,474	24.0	2,564	22.4	2,644	3.8	2,214	7.1
台湾	1,903	▲ 7.7	2,187	15.9	2,223	▲ 7.1	1,830	11.6
ASEAN・南アジア								
タイ	1,705	12.7	1,664	11.7	1,774	9.7	1,337	1.9
シンガポール	908	26.4	945	20.3	944	▲ 2.9	1,045	9.2
インドネシア	806	34.3	922	44.0	778	21.1	739	20.4
マレーシア	692	11.9	795	28.7	673	▲ 1.8	552	5.3
フィリピン	743	16.4	760	23.9	683	4.9	519	0.5
ベトナム	727	7.0	897	36.5	939	24.0	658	37.4
インド	419	13.2	440	2.2	500	5.4	431	23.1
パキスタン	176	11.4	166	12.9	206	13.8	98	▲ 9.3
その他地域								
中南米	2,079	17.4	1,981	10.3	1,945	19.0	2,266	5.9
中近東	1,653	▲ 5.9	1,691	▲ 7.5	1,902	7.9	1,547	9.0
大洋州	1,258	3.9	1,160	13.9	1,245	25.4	1,134	▲ 8.7
ロシア東欧等	1,111	12.6	902	13.4	957	21.5	994	28.5
アフリカ	465	▲ 0.6	458	▲ 24.1	474	2.9	633	1.7

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中19業種がプラス。うち産業機械等13業種が二桁の増加～

1)業種別では、光学機械(3.7%減)、航空機部品(13.0%減)の2業種を除く19業種がプラスとなり、前月に比べて1業種増加した。そのうち、産業機械(15.9%増)、重電気機械(23.4%増)をはじめ13業種が二桁の伸びとなり、機械全体で10.6%増となった。

2)リーマンショック前の水準を超えたのは鉄道車両、航空機部品、医療機械、軽機械、ベアリング、繊維機械、重電気機械、産業機械、工作機械、建設機械の10業種となった(12月は8業種)。他方、電子計算機、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2017/11				2017/12				2018/1				対08/1 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	16,219	9.6	36.3	自動車	16,670	4.9	35.4	自動車	12,901	7.8	33.5	0.81
産業機械	8,059	20.6	18.0	産業機械	8,927	10.3	18.9	産業機械	6,939	15.9	18.0	1.05
電子デバイス	3,560	14.1	8.0	電子デバイス	3,697	6.9	7.8	電子デバイス	3,067	5.7	8.0	0.84
軽電気機械	2,263	13.6	5.1	軽電気機械	2,496	6.8	5.3	軽電気機械	1,905	8.3	4.9	0.87
重電気機械	2,161	15.8	4.8	重電気機械	2,346	10.1	5.0	重電気機械	1,896	23.4	4.9	1.11
軽機械	1,715	11.1	3.8	軽機械	1,867	6.5	4.0	軽機械	1,447	13.6	3.8	1.23
民生用電子機械	1,513	11.5	3.4	民生用電子機械	1,559	▲2.8	3.3	民生用電子機械	1,261	3.7	3.3	0.47
光学機械	1,425	16.3	3.2	光学機械	1,450	0.1	3.1	光学機械	1,123	▲3.7	2.9	0.97
建設機械	1,262	45.9	2.8	建設機械	1,306	35.6	2.8	建設機械	1,148	20.2	3.0	1.01
船舶	967	▲18.8	2.2	工作機械	929	40.0	2.0	工作機械	711	58.6	1.8	1.03
通信機械	906	53.8	2.0	通信機械	921	42.8	2.0	通信機械	589	20.9	1.5	0.78
工作機械	796	51.5	1.8	船舶	816	▲2.3	1.7	船舶	2,255	1.9	5.9	0.91
航空機部品	686	8.7	1.5	航空機部品	703	5.4	1.5	航空機部品	580	▲13.0	1.5	1.51
医療機械	527	24.7	1.2	医療機械	591	12.7	1.3	医療機械	427	15.9	1.1	1.28
電子計算機	523	28.8	1.2	電子計算機	587	27.9	1.2	電子計算機	367	1.8	1.0	0.41
ベアリング	429	16.2	1.0	ベアリング	461	11.1	1.0	ベアリング	374	12.4	1.0	1.22
陸用内燃機関	416	27.9	0.9	陸用内燃機関	431	8.4	0.9	陸用内燃機関	369	19.3	1.0	0.99
繊維機械	211	15.3	0.5	繊維機械	232	5.8	0.5	繊維機械	220	33.5	0.6	1.15
農業機械	193	22.1	0.4	農業機械	228	15.7	0.5	農業機械	175	17.5	0.5	0.82
産業車両	129	12.8	0.3	産業車両	134	24.6	0.3	産業車両	105	20.2	0.3	0.55
鉄道車両	126	12.4	0.3	鉄道車両	98	▲22.8	0.2	鉄道車両	169	224.2	0.4	3.50
21業種合計	44,089		98.7	21業種合計	46,448		98.5	21業種合計	38,027		98.7	0.88

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～鉄道車両、工作機械等が大幅増、磁気カード・ディスク等が大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①EU向け**鉄道車両**(3.2倍)、②中国、北米、EU、ASEAN・南アジア向け**工作機械**(58.6%増)、③中国、北米、EU向け**産業用ロボット**(52.5%増)、④ASEAN・南アジア、中国向け**繊維機械**(33.5%増)、⑤ASEAN・南アジア、中国、北米向け**受信変換その他送受信機器**(28.2%増)、⑥中国、北米、EU向け**写真機の部分品・附属品**(24.8%増)、⑦中国、ASEAN・南アジア向け**その他の重電気機器・部分品**(23.7%増)、⑧韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(22.4%増)、⑨中国向け**電動機**(22.2%増)、⑩中国向け**その他の配電制御装置**(21.6%増)であった。

2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、磁気カード・ディスク等(30.9%減)、航空機部品(13.0%減)であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2017/11			2017/12			2018/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	565	97.0	通信機械部分品	579	87.8	鉄道車両	169	224.2
半導体製造装置	2,369	54.7	工作機械	929	40.0	工作機械	711	58.6
工作機械	796	51.5	電池	301	37.0	産業用ロボット	172	52.5
建設機械	1,262	45.9	建設機械	1,306	35.6	繊維機械	220	33.5
電池	253	42.1	発電機	107	32.8	受信変換その他送受信機器	123	28.2
電子計算機	523	28.8	電子計算機	587	27.9	写真機の部分品・附属品	107	24.8
陸用内燃機関	416	27.9	産業車両	134	24.6	その他の重電気機器・部分品	443	23.7
医療機械	527	24.7	産業用ロボット	222	21.5	半導体製造装置	2,276	22.4
電動機	177	23.8	半導体製造装置	2,699	17.8	電動機	152	22.2
産業用ロボット	196	22.9	農業機械	228	15.7	その他の配電制御装置	866	21.6
機種合計	7,084	*15.9%	機種合計	7,092	*15.0%	機種合計	5,239	*13.6%

は、2ヶ月連続で上位機種

* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部分品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表13. マイナス伸び率上位機種 (月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2017/11			2017/12			2018/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	51	▲ 19.6	鉄道車両	98	▲ 22.8	磁気カード・ディスク等	114	▲ 30.9
船舶	967	▲ 18.8	デジカメ・ビデオ	299	▲ 19.6	航空機部品	580	▲ 13.0
磁気カード・ディスク等	122	▲ 14.5	機種合計	397	* 0.8%	機種合計	694	* 1.8%
原動力機械	470	▲ 13.0						
機種合計	592	* 1.3%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～携帯電話、乗用車等が大きくプラス～

- 1) 1月の機械輸入伸び率は5.5%増と11ヶ月連続でプラスとなり、上位12機種のうち6機種がプラスとなった。そのうち携帯電話(10.9%増)、乗用車(19.0%増)と半導体製造装置(約2倍)の3機種が二桁以上のプラスであった。上位12機種のうち、マイナスとなったのは、受信変換その他送受信機器(13.5%減)、航空機・部品等(6.1%減)をはじめ、6機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換その他送受信機器、TV、時計の9機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の42%を占める中国(0.3%増)、ASEAN・南アジア(15.6%増)、EU(7.4%)、北米(5.5%増)、韓国・台湾(9.2%増)、その他地域(10.2%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2017/11				2017/12				2018/1			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,930	87.8	12.6	携帯電話	2,559	105.1	11.3	電子デバイス	2,405	2.5	10.8
電子デバイス	2,548	23.9	11.0	電子デバイス	2,320	3.3	10.3	携帯電話	2,335	10.9	10.5
電子計算機	1,970	10.9	8.5	電子計算機	2,108	6.3	9.3	電子計算機	2,011	▲ 2.9	9.0
自動車部品	1,373	11.9	5.9	乗用車	1,430	25.3	6.3	自動車部品	1,241	▲ 1.6	5.6
乗用車	1,243	33.7	5.4	航空機・部品等	1,153	▲ 21.9	5.1	乗用車	1,024	19.0	4.6
航空機・部品等	1,005	▲ 15.4	4.3	自動車部品	1,144	2.2	5.1	航空機・部品等	878	▲ 6.1	3.9
白物家電	760	12.9	3.3	白物家電	766	9.9	3.4	白物家電	692	▲ 5.1	3.1
医療機械	730	7.5	3.1	医療機械	707	5.0	3.1	医療機械	660	5.3	3.0
配電機器	635	19.7	2.7	配電機器	584	7.6	2.6	配電機器	653	7.7	2.9
受信変換その他送受信	558	▲ 1.2	2.4	受信変換その他送受信	583	▲ 6.8	2.6	受信変換その他送受信	564	▲ 13.5	2.5
その他の配電制御装置	456	13.8	2.0	その他の配電制御装置	431	5.9	1.9	半導体製造装置	441	101.4	2.0
コンデンサー等部分品	416	7.2	1.8	コンデンサー等部分品	394	7.2	1.7	その他の配電制御装置	436	▲ 1.7	2.0
12機種合計	14,624		63.0	12機種合計	14,179		62.8	12機種合計	13,340		59.9

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等